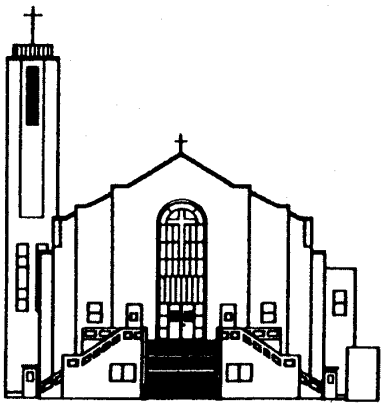

田園 一月号

(No.715. 2025.1.1)

カトリック田園調布教会報

☎03(3721)7271

〒145－0071　東京都大田区田園調布3－43－1

聖年が始まります！（　希望の巡礼者　）

新年あけましておめでとうございます。

主任司祭　ドミニコ竹内正美神父

二〇二四年十二月二十四日に、バチカンのサンピエトロ大聖堂の聖なる扉が開かれることをもって二十五年ごとの通常聖年が始まります。そして、二〇二六年一月六日の「主の公現の日」に、同じバチカンのサンピエトロ大聖堂の聖なる扉が閉じられることをもって閉幕します。

これに合わせて、すべての司教区では各司教座聖堂において、二〇二四年十二月二九日の主日に開幕ミサを行い、二〇二五年十二月二十八日の主日には閉幕ミサを行うことになっています。

今回の聖年のテーマは「希望の巡礼者」です。「希望は私たちを欺くことがありません。私達に与えられた聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれているからです」（ローマ５・５）

フランシスコ教皇様は述べています。「聖年は、ついえることのない希望、神への希望を際立たせる聖なる年です。この聖年が、教会と社会とに、人間同士の関わりに、国際関係に、すべての人の尊厳の促進に、被造物界の保護に、無くてはならない信頼を取り戻せるよう、私達を助けてくれますように。

又、この通常聖年を迎えるにあたって交付された大勅書「希望は欺かない」の冒頭において、教皇様は述べておられます。

「私達はしばしば、失望した人と出会います。自分に幸福をもたらしうるものなど何にもないかのように、懐疑的に、悲観的に将来を見る人たちです。聖年が、すべての人にとって、希望を取り戻す機会となりますように」（第一項）

大勅書には、戦争、暴力、差別、出生率の低下、拘留、死刑、病者、若者、移住者、難民、高齢者、貧しい人々や国などの問題を掲げ、それ等に希望の印を差し出すように呼びかけています。

この聖年を交付する大勅書で「聖年を、神の恵みから希望を受け、神へと向かう歩みを強めていただく機会とするとともに、困難にある多くの人に希望をもたらす者となるよう招かれていること」を自覚したいと思います。

私は田園調布教会の会報「田園」七月号でコロナ禍の現状を書きました。聖年をどう過ごしたら良いのか、再度、記述します。

カトリック田園調布教会の二〇二〇年一月以降から二〇二四年五月十九日までを振り返ってみたいと思います。コロナ禍にあって、私達の生活自体が大きく変わってしまったことです。人と人との関わりが希薄になり、生活自体の範囲が狭まり、親しい人との交わりも出来なくなり、孤独に耐える状態でした。

私たち高齢者の信徒にとって、ミサに出席することを遠慮するようにと勧められたのは大きな痛手でした。秘跡は信徒にとって、死活問題と言えるでしょう。カトリック田園調布教会の信徒の皆さんがコロナウイルス感染症によって、教会離れが目に見えて分かるようになったのは、感染症の初期の段階からでした。今もなお教会離れが続いています。特に青年層に至っては激しいです。

私たちは共に支え合い、励まし合い、慰め合って頂いた信仰を育ててきました。これからもこの姿勢は大切にしていかなければなりません。

この四年間の間で失ったものを取り戻すために、カトリック田園調布教会共同体が一つの心になって積極的にミサに参加し、秘跡に取り組み、病人を訪問し、教会維持費を納め、亡くなった両親、兄弟姉妹のミサ依頼をし、祈りの心をもって日々の生活に努力して参りましょう。

どうぞ、主がともにおられる限り希望があること、主こそ希望であることを、今こそ、人々に声をかけ、共に参加し、希望をもって語り合い、人々と交わりながら、人々にしっかり伝えていく聖年と致しましょう。

敬老のつどい

今年の「敬老のつどい」には約八十名ほどご参加いただきました。ミサとホールでは茶話会がおこなわれました。

去年から再開された「敬老のつどい」の茶話会では、竹内神父様よりお祝いの言葉とお祈りではじまり、にぎやかに会話が弾み今年もお元気にお会いすることができたことに嬉しく思いました。

最後に金神父様対参加者全員でじゃんけん大会があり勝った方がテーブルのお花をお持ち帰りいただきました。

ミサの前にはガールスカウトより手作りのコースターのプレゼントがありました。

教会委員会

世田谷南宣教協力体 合同堅信式

十月六日（日）アンドレア・レンボ補佐司教様の司式により、世田谷南宣教協力体合同堅信式が行われました。

碑文谷教会九名、上野毛教会五名、田園調布教会九名、合計二十三名の方が堅信を受けられました。

これからも、聖霊の導きにより主の道を共に歩み続けることができますように。式のあとには補佐司教様による聖フランシスコにまつわる講話があり、「太陽の賛歌」を味わいました。

教会委員会

【感想文】

「多くの人の支え」アルベルト　S・S

まず堅信式を行ってくださった神父様、準備を行ってくださった教会の皆様、この度はありがとうございました。僕は今回の堅信式で、以前より神様のことを知ることができ、神様との距離が近まったように感じます。

堅信の勉強会が始まる少し前には、堅信のことについてはほとんど分からなかったので、とても不安でした。しかし、勉強会では竹内神父様が様々なことをやさしく教えてくださったので、その不安は徐々になくなっていきました。

堅信式当日。教会内は他教会の受堅者たちもいましたが、いつもより静かで神聖な雰囲気でした。僕は副司教様に塗油をしていただくこともあって少し緊張していましたが、代父の方が自身の堅信時の感想やどのようなことをするかなどを教えてくださったので、始まるときにはその緊張はもうありませんでした。

今回の堅信で学んだことを糧に、これからの生活に活かしたいです。また、神様のことをもっと知りたいと思いました。

「堅信式を終えて」

トーマス・ヨハネ　K・R

私は長年オペラや宗教曲の指揮者・ピアニストとして従事しており、受洗前から常に

キリスト教を外から学び、傍観してきました。稽古や本番で教会を訪れる事も珍しくなく、オペラのふとした台詞、ミサ曲の歌詞の内容理解を深めていくうちに或る時、無性にミサに与りたいという気持ちが沸き上がり、二〇一八年から教会へ通い始め、翌年受洗する事が出来ました。

しかしその後、事情により受堅するまでなんと五年の歳月を要すこととなりました。ようやっと受堅出来た今、これを機に学びを深め、共同体の一員として教会への奉仕活動をしていきたいという気持ちになりました。

またいつの日か私もGod Fatherとなり、一本のキャンドルのように悩める信徒の進む道を照らせる存在になれたら、と思います。今回God Fatherになって下さった佐藤様と、お世話になった皆様に篤く感謝申し上げます。

七五三（二〇二四年）

十一月十日（日）七五三のお祝いが行われました。九時ミサの中で竹内神父様より九名の子どもたちが祝福を受けられました。子どもたちの健やかな成長をこれからもお祈りいたします。

教会委員会

バザー大盛会

十一月二十四日の主日、晴天の中、バザーが開催されました。多くの方々の協力を得、沢山の来場者をむかえて盛大に行われました。コロナ禍明けで、五年ぶりに飲食出店も再開したフルスケールのバザーでした。

昨年のコロナ禍明け再開第一回時の、「前例踏襲ではなく、皆で議論しながら、あるべき姿を考え、トライ&エラーでも徐々に育てていく」という考えを受け継ぎ、「皆でつくる楽しいバザー（一人ひとりの手をつないで大きな輪にひろげよう）」を掲げ、ゴミゼロ、コミュニケーションネームタグの着用、交流スペースの設置、事前の出店者打合せ二回実施など、新しい試みを行ったバザーでした。

出店者は、会の中で交流を深めながら開催何週間も前から準備を重ね当日を迎えました。また、駐車場係、財務の集計係、バ

ザー委員会に参加した方、前日設営、当日の警備、巡回、受付の方、待機いただいた医療職の方・・多くの方々のご尽力により、その協力が結実した良いバザーがつくられたものと思います。

バザーの中では、出店の枠を超えて、フランシスコ饅頭の販売、豚汁の販売を手伝っている光景が見られ微笑ましく感じられました。このような出店の枠を超えた協力・交わりの光景がこれからどんどん増えてくることを期待します。

まだまだ、「誰かの準備・・・」という類の声を聞きますが、「皆でつくる」が浸透され、さらに多くの方々と準備段階から交流できると嬉しいと思います。バザーが共同体の交流に貢献できた感謝と、さらなる交わりの広がりをお祈りします。

バザー実行委員会

図書室よりお知らせ

図書室は現在、毎月第一日曜日(九時から十三時)だけ開けております。もう少し開けられる日を増やしたいと思っております。お手伝いくださる方を募集しております。受付か図書係まで御連絡下さい。

図書係　I・J

【　新着図書のお知らせ　】

◎おもかげ復元師　笹原　留似子
◎この父ありて　梯(かけはし)　久美子
◎預言者の言づて　古巣　馨
◎かけがいのないあなたへ　長谷場　夏雄
◎聖母の平和と我らの戦争　晏生(あんじょう)　莉衣(まりい)
◎図説スペインの歴史　川成　洋（書）
宮本雅弘（写真）
◎ぶらりあるきサンティアゴ巡礼の道　安田　知子
◎サレジオ　北田　英治
◎満州帝国の誕生　山川　暁
◎母であるわたしがここに居る　ではありませんか　田端　美恵子
◎伴侶に先立たれた時　A・デーケン　重兼　芳子編
◎島の診療記録から　神谷　美恵子
◎人生を支え老いを照らす光　森　一弘
◎病と老いと死とその後の「いのち」　森　一弘

シテ建築遺産博物館（パリ）

写真・文　柳沢　洋子

昨年十一月、コロナ期間中に出不精になってしまった自分を励まして五年ぶりにフランスに出かけました。目的は、十一月ですから知合いのお墓参りと旧友との再会でした。

【　博物館から見えるエッフェル塔　】

日本の十一月は乾燥して晴れの日も多く、銀杏の黄葉が辺りを明るくしているイメージですが、フランスは本格的に冬が始まり、

雨が降ることも多く、暗い季節なので、フランス人には何故十一月に来たんだ！と言われる始末でした。それでも外は暗くとも、室内の暖かい光が美しく、秋から冬にかけて美味しくなる食べ物も沢山あり、私は嫌いではありません。

しかし滞在中に、ついに初雪が降ってしまい、その日は街歩きの予定を変更して、私の大好きなシテ建築遺産博物館に行くことにしました。

私はフランスの、特に修道院建築と彫刻を見て回るのが好きで、機会あるごとに大変な旅（車社会のフランスで公共交通機関だけで移動しようとする）を繰り返してきましたが、二〇〇四年に今回ご紹介する博物館がオープンした時には、今までの旅の苦労は何だったのか！と思いました。なぜなら、フランス中の文化遺産に指定されている彫刻、壁画のレプリカを可能な限り原寸大で展示しているのです。

【　右　：ストラスブール：教会の入口にある像のレプリカ　】
【　左　：サン・ジル：アルルに近い南仏の教会入口　】

場所は昨年のオリンピック表彰式も行われたトロカデロ庭園の背後にあるシャイヨー宮の中にあります。この建物は一九三七年の万博の際に、それまでの宮殿を壊し建て直されたものですが、天井が高く、ガラス窓も大きく、建築彫刻の石膏レプリカも原寸大で展示できる広さです。石の建物の装飾をかたどって再現するのは、木の文化の日本と比べるのは容易とは言え、ここまでするのかと圧倒される質と量です。

【　ヴェズレーのタンパン：
ヴェズレーの聖マドレーヌ教会の聖堂入口　】

一八三七年に設立された歴史的記念物委員会の活動の成果で、目的としては文化財を保存保護し、オリジナルに何かあった場合のための研究に役立てるためだそうですが、そのために膨大な予算と時間を惜しまないフランスの力を見せつけられる思いです。

【　塔の鶏：焼け落ちたノートルダム教会の塔の天辺にあった鶏が焼け跡から拾いだされたもの 】

パリのノートルダム教会の火事は記憶に新しいのですが、あの時も聖人像がレプリカ作成のために降ろされていて無事だったことはニュースでも報じられていました。先の大戦で失われたもののレプリカもあるそうで、文化遺産の記憶と記録をしている重要な機関でもあります。

この中で、訪れる度に長い間立ち止まってしまう彫刻があります。それはキリストの埋葬の場面を畳六畳くらいのスペースに表現しており、中央に十字架から降ろされたキリスト、くずおれそうなマリア様を支える人たち、十字架と釘を持った天使。写真では良く見えないかと思いますが、はずした茨の冠を泣きながら見る女の人の後ろには二人のローマ兵がいてサイコロをふっているのです。つまり、ヨハネ書にある通り、キリストの衣（縫い目の無い下着）を裂くのはもったいないので、誰が取るかをくじで決めた、と言う場面なのです。

私がこの彫刻を見て固まってしまうのは、題材のピエタが悲しいということもありますが、自分もサイコロをふっている人たちと同じ罪人なのだ、いざとなれば変わりはないのではないかと考えてしまうからです。私は未だ、この彫刻のオリジナルを見ていません。いつか本物を見に行く機会と体力に恵まれますように。

【　ピエタ　：キリスト降下の場面　】

〈信徒連絡会〉

十月・十一月・十二月　議題書
※文中敬称略

日時　二〇二四年十月十三日、十一月十日、十二月八日　10時～10時30分

行事・予定

十月　ロザリオの月
十月三日(木)フランシスコ帰天祭（トランジトウス）
十月六日(日)フランシスコ祭
世田谷南宣教協力体　合同堅信式
十月十三日(日)信徒連絡会
十一月三日(日)死者のミサ・教会委員会
十一月十日(日)七五三ミサ・信徒連絡会
十一月二四日(日)バザー
十二月一日(日)教会委員会
十二月八日(日)信徒連絡会
十二月十五日(日)よろこびの主日・黙想会
十二月二二日(日)窓ふき・大掃除
十二月二四日(火)主の降誕（夜半のミサ）
十二月二五日(水)主の降誕（日中のミサ）

各会報告など

典礼委員会

十月・十一月

・10月6日（日）のフランシスコ祭、午後の合同堅信式は無事終了いたしました。23名の方々が受堅されました(田園調布：9名、碑文谷：9名、上野毛：5名)。写真撮影、受付、誘導など、ご協力くださった教会委員の皆様、ありがとうございました。碑文谷教会、上野毛教会の皆様にも喜んでいただけたようです。

十一月

◎ 10月20日（日）に、新たに朗読担当者になられた方を中心に朗読講習会を開催いたしました。この講習会は朗読奉仕者になる方だけのものではなく、日々の聖書の読み方などを知ることができますので、積極的にご参加ください。

◎ 12月24日（火）のミサは、例年通り15時、17時、20時、23時の4回です。

十二月

◎ 11月30日（土）に、教会委員の方の力もお借りしてアドベントクランツを用意しました。プレセピオも設置予定です。

◎ 12月21日（土）10時から侍者研修会を実施いたします。

財務財政委員会

十月

◎ 10月13日（日）二〇二五年度予算説明会

◎ 10月27日（日）二〇二五年度予算申請受付

十一月

◎ 二〇二五年度の予算申請にあたり、ほとんどの活動会で二割減の予算削減のご協力を頂いており、誠にありがとうございます。削減が二割減に満たない一部の活動会については、12月中旬までに再検討とご説明をお願いすることがあります。

◎ 財務財政委員会としては、教会の健全な財務運営に向けて、教会維持費の堅実な収入増にも取り組んでいきます。教会は皆さんよりの月定献金、

ミサ献金などで維持運営されています。皆さまのご理解、ご協力をお願いいたします。

十二月

◎ バザーに各活動会の多大なるご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

◎ 今年度の決算について、各活動会は、12月8日9時ミサ後に印刷室へ今年度の使用状況表、出納簿、領収証、残金と共に、ご持参ください。

◎ 二〇二五年度予算申請について、一部の委員会&活動会を除き申請通りに承認させていただく予定で、1月初めまでに承認印のある予算申請用紙を各活動会のトレイに入れておきますので、ご確認ください。

福音宣教委員会

十月・十一月

◎ フランシスコ祭にて作品展を実施しました。55名の出展者の皆様から84点の作品をお預かりし、展示させていただきました。ご協力いただいた方々に感謝いたします。

◎ フィッティングボードを寄付いただきましたので、信徒会館3階に設置しました。ご利用ください。

◎ 10月6日コーヒーサンデーにてフランシスコ饅頭50個を販売し、費用との差額を全額教会に献金しました。

十二月

◎ バザーにてフランシスコ饅頭の提供を行いました。

◎ 12月6日金曜日10時より、クララ聖堂にて初金ミサを行いました。ミサの後初金ミサの意義およびクリスマスについての簡単なご講話をいただきました。参加者が少なく、また供給も難しいため、以前のような食事の提供は行わず、当面はミサのみ実施していきます。

◎ 主の降誕のミサにおいてクリスマスカードを配布予定。

福祉委員会

十月

◎ 9月8日に行いました「すべての命を守る月間」での慈恵病院コウノトリのゆりかご支援募金への皆様のご協力に感謝いたします。全額送金済みです。

◎ 福島やさい畑の販売は、1か月ずらしてバザー当日に開催します。

十二月

◎ 奄美大島聖心会教会へのバザーで余った衣料品のご寄付をありがとうございました。段ボール5箱を送りました。カリタス東京生活困窮者タスクグループに声をかけたところ、カトリック東京国際センターより、支援している家族の中で女子高校生の衣料の依頼がありましたので　別に段ボール2箱をお送りすることとしました。衣料品の配送料はボランティアセンターが支援してくださることになりました。

◎ 今後はお持ちくださった方たちにも仕分けや選別などの作業のご協力お願いいたします。

◎ 例年通り愛の基金から海外宣教委員

会と久が原子供寮の自立支援に送金予定です。

◎ 二〇二五年は福島やさい畑の販売を奇数月に開催します。

バザー委員会

十月

10月13日　バザー委員会

10月20日　出店説明会12時15分～301・302会議室

11月10日　バザー委員会

11月23日　前日設営

11月24日　バザー当日

十一月

以下の通りバザーを実施します。

日　時：二〇二四年11月24日（日）
8時30分～14時

出店内容：手作り作品、献品等の販売、児童向けゲーム、飲食出店、交流スペース

同時開催：オルガンコンサート（12：45～13：10、後オルガン体験会）、福島野菜販売、ドンボスコ社による販売

スローガン：皆で創る楽しいバザー（一人ひとりの手をつなぎ大きな輪にひろげよう）

お願い：・公共交通機関の利用
・コミュニケーション・ネーム・タグの着用
・エコバッグの持参
・ゴミの持ち帰り

十二月

◎ 皆さまのご協力のもとより良きバザーとなりました。ＳＤＧＳも意識したゴミ問題も今後さらなる改善は必要との理解ですが大きな問題もなく終えることができました。現在アンケートなどの内容精査中です。いただいたご指摘・ご意見は今後の参考にいたします。

環境部会

十月

◎ 9月16日、17日に法面の下草刈りを実施しました。特に、道路にはみ出していた草を切り落とし、視界も良くなったかと思います。

◎ 9月21日に中庭の芝刈りを行いましたが、28日以降も継続して作業を行います。

十一月

◎ フランシスコ祭、堅信式に向けて、花壇、正門からのスロープ、フランシスコ像の前に花を飾りました。今後も、お祝いや典礼暦、季節に合わせて花を飾って主をお迎えしたいと考えております。

◎ 信徒の方のご好意で、正門付近にリールのホースを設置いただきました。水撒き等をされる方は、使用後にきれいに巻いて元に戻すなど、大切にご利用ください。

◎ 最近、倒木、枝の落下など、教会内の古い樹木による事象が発生しております。事故が起きる前に対応を進める必要がありますので、危険と思われる箇所を見つけましたらお知らせください。

◎ ルルドの枯れ木に倒木の危険がありましたので伐採いたしました。子どもたちがつまずいて怪我をしないように切り株は長めに残しています。

◎ ルルドのマリア様の前に蝋燭が置かれていることがあります。火がついたままになっていることもあるようです。危険ですので、マリア様の周辺

で火を用いないようにお願いします。

十二月

◎ 11月17日の9時ミサ後に落ち葉掃きを行いました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。12月は他の予定が詰まっていますので、次回は1月に実施を検討します。日時が決まりましたらお知らせしますので、ご都合のつく方、当日作業を見かけた方はお手伝いいただけると助かります。

◎ 中庭、ルルドの花壇にチューリップの球根を植えました（11月30日）。土が乾いていましたらお水をあげるなど、皆様で大切に育ていただけると嬉しく思います。

◎ 待降節を迎えるにあたり駐車場のゴールドクレストにクリスマスの飾りをいたしました（11月30日）。飾りは信徒の方からお借りしたものですので大切にしてください。

◎ 中庭のモミの木、信徒会館入口に電飾をしました。

施設管理部会

十月・十一月

◎ 信徒会館の空調設備更新工事は、無事完了いたしました。
尚、使用にあたっては、適切な温度設定でお願いいたします。

十二月

◎ 大聖堂の空調更新修理を行いました。

オルガン部会

十月

◎ 10／27ワークショップでの細かなパーツや仕組みを来場者が自席で見て頂けるよう YouTube を利用いたします。

十一月

◎ 10／27にオルガンワークショップが行われました。ご参加いただいた方々にはオルガンに関するご理解を得られたのではないかと思います。

◎ 来月より9時ミサでの奏楽も始まりますが、オルガニストの確保が課題となっておりましたが山手教会オルガニストに来年1月12日のミサ奏楽よりご協力いただけることになりました。それに伴い11月からしばらくは練習に入りますのでご了承ください。

◎ オルガン部会は教会の委託を受けて活動しています。パイプオルガンの維持のため今後もご協力をお願いいたします。

十二月

◎ バザーのミニコンサート、体験ツアーを行いました。

検討事項、経過事項など

① 敬老会（9／15）：
・77才以上の対象者500名ほどの方たちに葉書でお知らせを発送、80名あまりの方々に参加いただきました。ミサ後1時間ほどでしたが、和やかな時間を過ごしていただきました。

② 倉庫整理（12／22外部倉庫、104号室）
・12月1日をめどに各委員会と活動会に倉庫整理をお願いいたします。
・尚、管理者不明と判断したものは廃棄しますので、予めご了承願います。

③

七五三

11／10（日）9時ミサの中で、七五三のお祝いがありました。8名のお子様方が祝福を受けられ、21名のご家族様のご参加がありました。

受付、案内、写真と、ご協力くださった皆様ありがとうございました。

④

黙想会(12／15)

講話：　フランシスコ会 古里神父様

スケジュール：

9時～10時　講話

10時～11時　分かち合いとまとめ

11時～12時　ミサ

12時～　ゆるしの秘蹟

分かち合いは、昨年同様、20グループ程度に分けて行う予定で、信徒の方にファシリテータをお願いすることになります。

⑤

二十歳のつどい

二〇二五年1月12日（日）11時ミサで「二十歳のつどい」のミサとミサ後にお祝いの会（茶話会）を行います。今年の該当者は19名、ご案内ハガキをすでに発送しました。ミサ中のご案内アナウンスと大聖堂ホワイエに申込書を置いてあります。

また準備等でお手伝いを募集いたしますのでどうぞよろしくお願いいたします。

⑥

餅つき（1／19　9時ミサ後）：

教会学校、ボーイスカウト、ガールスカウト中心とした餅つき大会を行います。これらに参加していないお子さんたちへのお声がけをお願いします。

【お知らせ】

★次号(田園四月号)は四月初旬にオフィシャルサイトに掲載予定です。

★「田園」を紙面(印刷物)だけでご覧頂いている方へ

カトリック田園調布教会オフィシャルサイト https://catholic-denenchofu.jp/のトップページ上部メニュー「今週のお知らせ／田園」又は「今月の司祭の言葉／信徒連絡会・田園」などから本内容がご覧頂けます。

※トップページ右側下方「カテゴリー／田園」からもご覧いただけます。